

第30回 箕面市地域公共交通活性化協議会 会議録

1. 日時

平成28年3月30日（水） 午前10時00分～午前11時00分

2. 場所

箕面市役所 本館3階 委員会室

3. 出席者

(会長)

- ・箕面市副市長 伊藤哲夫

(副会長)

- ・大阪大学大学院 工学研究科教授 土井健司
- ・箕面市地域創造部長兼みどりまちづくり部長 広瀬幸平

(委員)

- ・大阪大学大学院工学研究科助教 猪井博登
- ・阪急バス株式会社取締役自動車事業部長 野津俊明
- ・阪急バス労働組合副執行委員長 越智啓伸
- ・みのおの交通を考える会 永田よう子
- ・大阪船場繊維卸商団地協同組合専務理事 工藤寛士
- ・東急不動産 SC マネジメント株式会社みのおキューズモール総支配人 桑原克典
(代理出席) マネージャー 東條正和
- ・株式会社ビバーレコートビバーワールド 箕面船場統括マネージャー 米津秀春
- ・学校法人大阪青山学園事務部経理課（地域活動支援室）課長 福田貴夫
- ・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官（総務企画） 若林隆司
- ・大阪府都市整備部交通道路室参事 尾花英次郎
- ・国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務局管理第二課長 竹田佳宏
- ・大阪府箕面警察署交通課長 小松憲忠
- ・国土交通省近畿運輸局企画観光部交通企画課長 北川健司（オブザーバー）
(代理出席) 交通企画課専門官 曾川高円
- ・箕面市健康福祉部長 小野啓輔
- ・箕面市子ども未来創造局長 大橋修二
- ・箕面市地域創造部鉄道延伸・まちづくり政策統括監 柿谷武志

(欠席)

- ・阪急電鉄株式会社都市交通事業本部都市交通計画部部長 奥野雅弘
- ・一般社団法人大阪タクシー協会常務理事 井田信雄
- ・街づくり支援センターみのお 清田栄紀
- ・栗生第二住宅自治会会長 佐藤大典
- ・自転車道ネットワーク公募市民 松木亮

- ・分科会の副分科会長 西川健一
- ・箕面商工会議所総括参与 松出末生
- ・株式会社ジェット統括本部長 妹尾一男
- ・有限会社箕面自動車教習所取締役総務部長 桐村敏昭
- ・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官（輸送） 湯川義彦
- ・大阪府池田土木事務所参事兼維持保全課長 進士肇
- ・国土交通省近畿運輸局自動車交通部旅客第一課長 西川孝秀（オブザーバー）
- ・箕面市市政統括監 稲野公一

以上、委員30名のうち18名出席、オブザーバー1名出席

4. 議 題

- (1) 本格運行、実証運行の状況について
- (2) 日曜、祝日の実証運行について
- (3) 平成28年度収支予算について
- (4) その他

5. 議事要旨

- (1) 本格運行、実証運行の状況について
- (2) 日曜、祝日の実証運行について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○オレンジゆずるバスの一部縮小に伴い、中部地区の方への説明会はどういう形で行うのか。
 またパブリックコメント実施の際にはどのように資料を工夫し、説明するのか。
 →パブリックコメントは分かりやすい資料になるよう工夫する。説明会も同様に工夫した資料
 作りに努め、市の広報誌などで日程を周知する。

○オレンジゆずるバスの役割、必要性について説明会にて周知していただきたい。
 →内容を工夫し、説明会、パブリックコメントにて説明する。

- (3) 平成28年度収支予算について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○バス代の収入はどこに出てくるのか。
 →収入にバスの運賃収入は計上していない。歳出の事業費は運賃収入を差し引いて記載してい
 る。

○収支予算の合計が昨年度より減っている理由は何か。
 →日曜、祝日は実証運行から本格運行に移行するため、昨年度の実証運行時の国からの補助金
 が減少することが要因となっている。

○介護保険が日常生活支援総合事業に移行していくことに関して、移動部分は一般財源に移行したので基本的には介護保険は使えないという話を聞いた。確認されているのか。
→総合事業は、要支援の人が移行していく分に加えて一般介護予防事業を受け、それを両方合わせて新しい介護保険の事業になっている。一般介護予防は65歳以上の方を全員対象にした介護保険事業になり、オレンジゆずるバスの料金については高齢者の外出促進といった主旨から介護保険事業として位置付けており支出に問題はないと考えている。

(5) その他

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○特になし

以上